

令和4年度 佐久城山小学校グランドデザイン

保護者・地域の願い

- ・挨拶や返事がしっかりできる子になってほしい。
- ・思いやりのある子に育ってほしい。
- ・健康で安全な生活をしてほしい。
- ・自分の考えをはっきり言える子になってほしい。
- ・この地域の将来を支えていってほしい。
- ・基礎学力を身につけてほしい。

学校教育目標

本当の生き方を求め
 “自分の手足を動かし、
 頭を働かせ、
 心で感じとる”

こんな佐久城山小の子どもたち

- ・興味・感心のあることに対して、前向きに最後まで夢中になって取り組む児童。
- ・活動する内容が明確になると、学習や体験活動等に生き生きと取り組む児童。
- ・友だちの考えから学ぼうとしたり、お互いに楽しみながら教え合ったりする児童。
- ・自ら追究し、進んで活動を創り上げ、思いや考えを表現したい児童。

<基盤に据えるもの>

人権尊重の視点に立った学校づくり

人権が尊重される 人間関係・学習活動・環境 づくり

自分の心で感じとる 子ども

- 五感を使って自分らしい感じ方ができる。
- 自分が感じたことを、自分らしく表せる。

自分の頭を働かせる 子ども

- 自分らしい考え方や、やり方ができる。
- 一人ひとりが自分を出し合って、共に学び合う。

自分の手足を動かす 子ども

- 全ての学習や学校生活で十分に体を使って動かす。
- 自分で体験し、共に学び合う。

【本年度の重点目標】「主体的に学び合い、互いに高め合う子どもたち」の育成

【職員】

- 自分で感じたことを のびのびと表現し合える学校
- 自ら考え 共に学び合える学校
- 地域と連携し 自ら動いて力をつける学校

【児童】『つよい心』で みんなニコニコ 佐久城山っ子

- ① つたえ合おう！ 自分で感じたことを のびのびと
- ② よく考えよう！ 相手の気持ち 毎日の勉強
- ③ いっしょに つくろう！ 心と体を動かして



心

自分で感じたことを のびのびと表現し合える学校

- 1 児童理解を中核に据えた学級づくり**
 - (1) 子どもたちの「心の声」に寄り添う
 - (2) 安心できる人間関係づくり(Q-U等)
 - (3) 全員参加できる優しい学級活動
 - (4) 明るい挨拶が響く学級・学校
- 2 教育相談の充実**
 - (1) 保護者や子どもの声を大切にしたい 相談体制づくり
 - (2) 学級担任・生徒指導・特コ等との日常的な連絡調整→迅速な「チーム対応」
- 3 相談活動の充実**
子どもの声に耳を傾け 些細なサインをキャッチ
 - (1) 児童と向き合う時間の確保…相談旬間
 - (2) 児童相談の定期的な時間の確保
 - (3) 「心とからだ」の相談窓口の活用
- 4 家庭や外部関係機関との連携**
 - (1) 生活習慣調査(睡眠・食事・SNS)
 - (2) 安心できる家庭づくり(学級・学年PTAセミナー)
 - (3) SMA、SC、SSW、医療、福祉等との連携 拡大支援会議の開催
 - (4) 児童館との定期的な連絡会
- 5 研修会の実施**
 - (1) 各職員による実践発表会
 - (2) 職員の資質向上を目指した研修

頭

自ら考え 共に学び合える学校

- 1 全校研究テーマ**
 「子どもが互いに高め合い、自らの課題を解決する授業」
 - 2 児童理解を中核に据えた授業改善**
 - (1) 「主体的・対話的で深い学び」の充実
 - ① 「教師主導型の授業」からの脱却
 - ※ 教師の「自己課題」の明確化(PDCA)
 - ※ 「教える」→「導く」
 - 「教わる」→「学び取る」気風づくり
 - (2) 子どもたちの「なぜ? どうして?」を大切にしたい「問い」のある授業
 - (3) 学習形態の工夫(ペア・グループ等)
 - (4) 「相手意識」「伝え合う力」の育成
 - (2) 授業のUD化(焦点化・視覚化・共有化)・「多層指導モデルMIM」等を利用したアセスメントの実施と教材研究
 - (3) 実態や課題に応じた指導体制
 - (4) 学年内授業交換(含 教科担任制)
- 3 安心して学び合える環境づくり**
 - (1) お互いに認め合える関係づくり
 - (2) 授業や環境の構造化・UD化
- 4 基礎・基本の定着**
 - (1) 「授業の約束」の共通理解→徹底
 - (2) ドリル学習や家庭学習の充実
 - (3) ICTを活用した教育の実践
 - (4) 「放課後学びと学習」の発展・充実

手足

地域と連携し、自ら動いて力をつける学校

- 1 自分たちでつくる児童会・行事**
 - (1) 仲間意識を育てる登校班
 - (2) 縦の繋がりを大切に交流活動
 - (3) 児童会や行事等の企画・運営
 - (4) 学校生活の課題を自分たちで解決しようとする活動(挨拶・清掃など)
- 2 地域から学ぶ**
 - (1) 自然環境を生かした学び、地域探検
 - (2) 地域の人から学ぶ
 菜の花畑見学、麦踏み、じゃがいもコロッケバーガー作り、稲作、等
 - (3) 地域の方々や「愛の里」との交流
- 3 地域連携 …健康・安全・安心づくり**
 - (1) 家庭、地域と連携した食育・情報教育・保健活動の充実と発信
 - (2) 危険箇所の確認と安全マップづくり
 - (3) 「見守り隊」との連携
 - (4) 公民館、育成会、区長会との連携
- 4 佐久城山運動の充実**
 - (1) 学校周辺の運動環境の充実
 - (2) 全校での体力づくり、運動への取組(城山サーキット)

- 保護者や地域の声、職員の思いを「教育課程・学習指導の改善」に生かす
 - ・授業参観・学校開放・CS推進委員会・学校運営委員会・学校評価・児童の授業評価
 - ・お便り(学校・学年・学級)・個別の生徒指導・職員会議等での子どもに係わる情報共有